

『健康プラザぱる』はSDGsを応援します

SDGsとは

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。2015年9月の国連サミットで採択されました。



誰もがより良く生きるために生活・環境・経済などで掲げた目標です。

SDGsにおける日本の評価(2019年度)

インデックス*	貧困をゼロに	飢餓をゼロに	健康と福祉	質の高い教育	ジェンダー平等	安全な水	クリーンエネルギー	働きがいと経済成長	産業と技術革新	不平等をなくす	まちづくり	消費と生産	気候変動	海の豊かさ	土の豊かさ	平和と公正	パートナーシップ
Trend & Gap	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【2019】15位	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
SDG Trend	↗	↗	↗	↑	→	↑	↗	↑	↑	↓	N/A	N/A	→	→	↗	↗	↗
Performance gap	0.1%	1.2%	0.3%	0.2%	1.6%	0.8%	0.4%	0.9%	0.6%	0.8%	1.2%	4.1%	1.8%	1.5%	1.3%	0.4%	1.4%

*緑色：概ね達成済み、黄色またはオレンジ：危機的状況、赤色：達成までほど遠い状況を示す (<http://www.sdgindex.org/>)

日本は昨年と同じく15位。日本を含め世界的に状況が芳しくないのは、目標13の気候変動、目標14の海洋生態系、目標15の陸上生態系の3つ。日本は目標4の教育、目標9のイノベーションでは「グリーン」で高い評価ですが、目標5のジェンダー平等、目標12の責任ある消費と生産、目標13の気候変動、目標17のパートナーシップでは、一番低い「レッド」の評価でした。また改善度では、目標10の不平等で大きく後退を示す「レッド」評価となりました。

日本は先進国でありながら、いまだ周知されていないSDGsの取り組み。財團のトップは「リップサービスで貧困や教育の格差は解決しない。行動でしか解決しない。」と話しています。

SDGsの意識と行動でコロナ禍も乗り越える

今世界は新型コロナウイルスで未曾有の危機に陥っています。各国は目の前のこの悲劇をどう乗り越えるのか、瞬時も気を抜けない状況ですが、このコロナ禍も突き詰めれば、肥大化する資本主義の在り方が大きく影響していると思われます。今後も似たような世界規模での危機が何度も起こると言われています。このコロナ禍を奇貨として、世界がSDGsの意識と行動でしっかりとつながれば、どんな世界規模の危機をも乗り越えていけると思います。

『健康プラザぱる』はSDGs達成のためエシカル商品を積極的に取り扱います

皆様の眞の健康に寄与することを前提に、日本のみならず全世界で探し求めたエシカル商品を広く皆様にご紹介し、エシカル消費を推し進め、SDGsの目標達成に貢献してまいります。



薬用ホットタブ

